

令和 5 年度当初予算案 事業別概要

1	項 目 名	事務局本庁舎・分庁舎外壁他改修工事
---	-------	-------------------

年 度	令和 5 年度
-----	---------

担当課
総 務 課

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	一般管理費

(単位：千円)

令和 5 年度予算額	42,726
令和 4 年度予算額	3,338

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	32,000
その他	0
市町普通負担金	10,726
計	42,726

その他財源の内訳	
市町特別負担金	0
	0
	0

事業の概要

【問合せ先】庶務係 0857-20-0119

【事業の経過及び背景】

事務局本庁舎は、本組合が平成 7 年に現建屋（昭和 5 2 年度竣工）を取得・改修し、事務局執務室等として活用するとともに、平成 1 1 年には、共同処理事務の増加に伴い利便性の向上を図るため、事務局分庁舎を竣工し現在に至っている。

近年、本庁舎、分庁舎ともに建物・設備の老朽化が進んでいることから、令和 2 年度から計画的に修繕を実施しており、最終年度となる令和 5 年度は、事務局本庁舎及び分庁舎の外部改修工事を行う。

【事業の目的及び効果】

施設の維持管理をより効率的・効果的に進めるため、必要な修繕を行い、庁舎の予防保全に努める。

【事業の内容・実績】

令和 2 年度	事務局本庁舎（2 階・3 階）の空調設備修繕	[決 算]	6,600 千円
令和 3 年度	事務局本庁舎（1 階）及び分庁舎の空調設備修繕	[決 算]	4,389 千円
令和 4 年度	事務局本庁舎・分庁舎外壁及び屋上防水改修設計	[決算見込]	2,882 千円

【当該年度計画】

<本庁舎> 外壁ひび割れ・欠損・塗替え改修、屋上防水改修他
 <分庁舎> 外壁サイディング塗替え・シーリング改修、屋上防水改修他

2	項 目 名	因幡霊場大規模改修事業
---	-------	-------------

年 度	令和5年度
-----	-------

担当課
福祉環境課

会計名	
	一般会計
款	衛生費
項	火葬場費
目	因幡霊場管理費

(単位：千円)

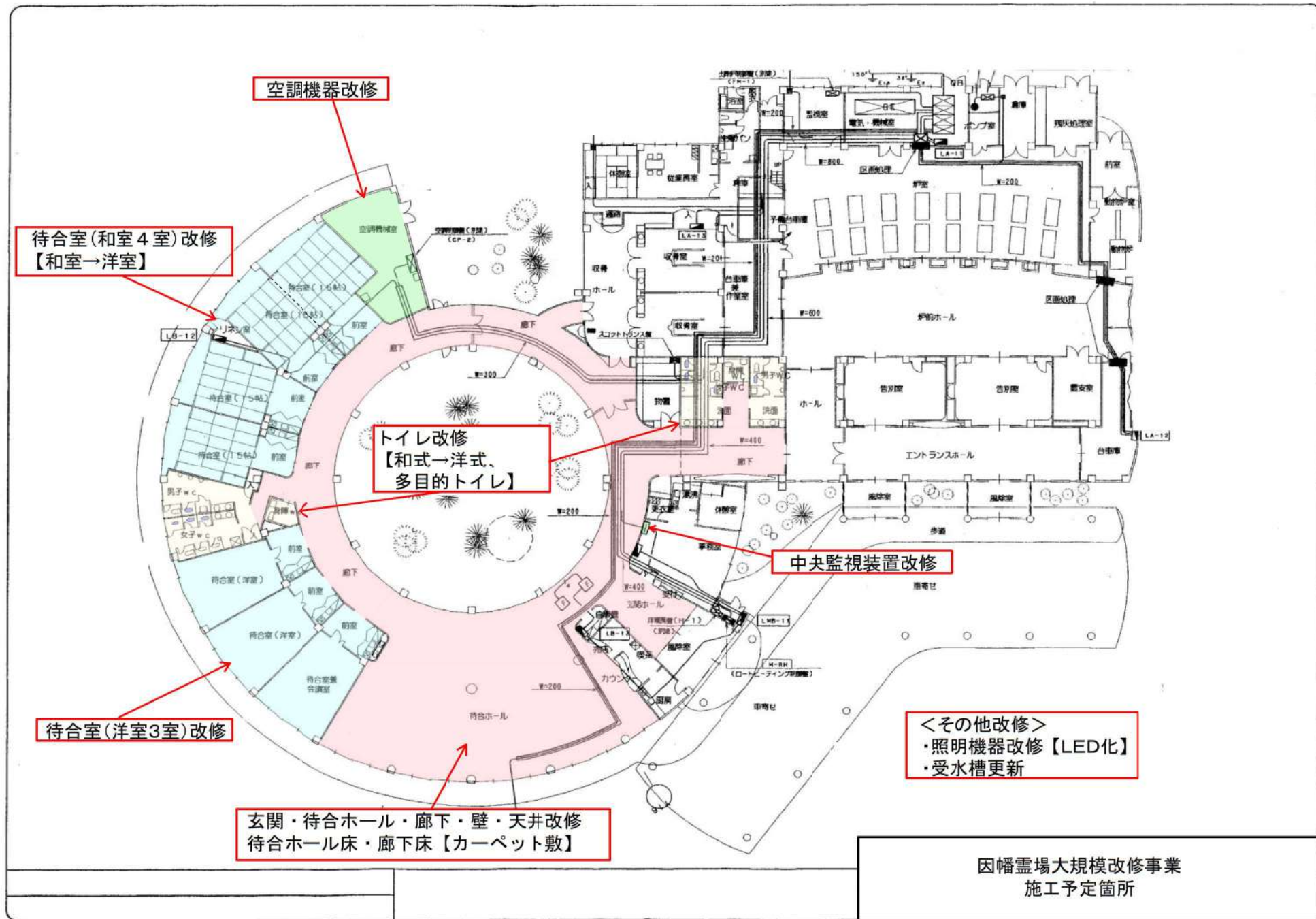
令和5年度予算額	11,061
令和4年度予算額	0

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	0
市町普通負担金	11,061
計	11,061

その他財源の内訳	
市町特別負担金	0
	0
	0

事業の概要
【問合せ先】 環境管理係 0857-26-0532 【事業の経過及び背景】 因幡霊場は平成10年4月の供用開始から24年が経過し、内装等建築物の老朽化が進んでいる。 また、供用開始時に設置した空調機器等設備類も老朽化しており、補修部品の調達も困難な状況にある。 加えて、利用者より高齢者等に対し利便性の改善（洋室・洋式トイレへの変更等）を求める要望がある。 【事業の目的及び効果】 建築・設備類の大規模改修を行い、ご遺族や会葬者の方が故人をしのび、心安らげる施設としての環境を整備する。 【事業の内容】 令和5年度 実施設計業務 令和6～7年度 改修工事（内容は別頁のとおり）【概算】240,000千円 【当該年度計画】 実施設計業務 11,061千円



3	項 目 名	因幡浄苑処理槽防食修繕
---	-------	-------------

年 度	令和5年度
-----	-------

担当課

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	し尿処理費
目	施設管理費

(単位：千円)

令和5年度予算額	78,950
令和4年度予算額	0

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	59,200
その他	0
市町普通負担金	19,750
計	78,950

その他財源の内訳	
市町特別負担金	0
	0
	0

事業の概要

【問合せ先】環境管理係 0857-26-0532

【事業の経過及び背景】

し尿等の処理において各処理槽は防食塗装が施されており、コンクリート層の腐食を防ぐ構造となっている。

因幡浄苑は平成12年の供用開始以降、これまで、各処理槽の防食塗装修繕を行っていないため、経年劣化によりアンモニア等による防食塗装部分の腐食が激しくなっている。

令和2年度から計画的に各処理槽の防食修繕を行っており、令和5年度に調整槽(2槽)の修繕を行うことにより予定していた処理槽の防食修繕は終了となる。

【事業の目的及び効果】

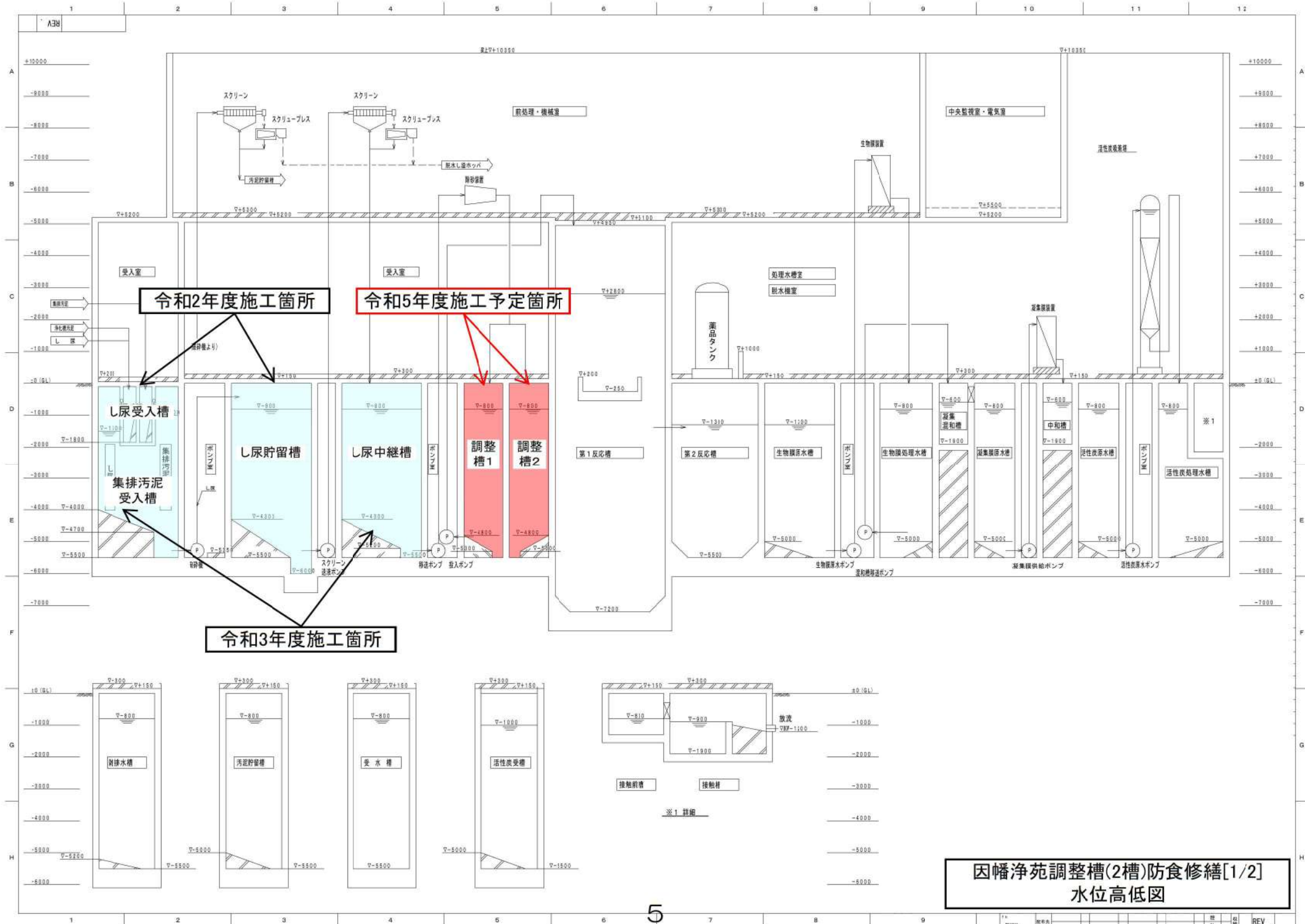
施設の維持管理を効率的・効果的に進め、長寿命化を図るため必要な改修を行う。

【事業の内容・実績】

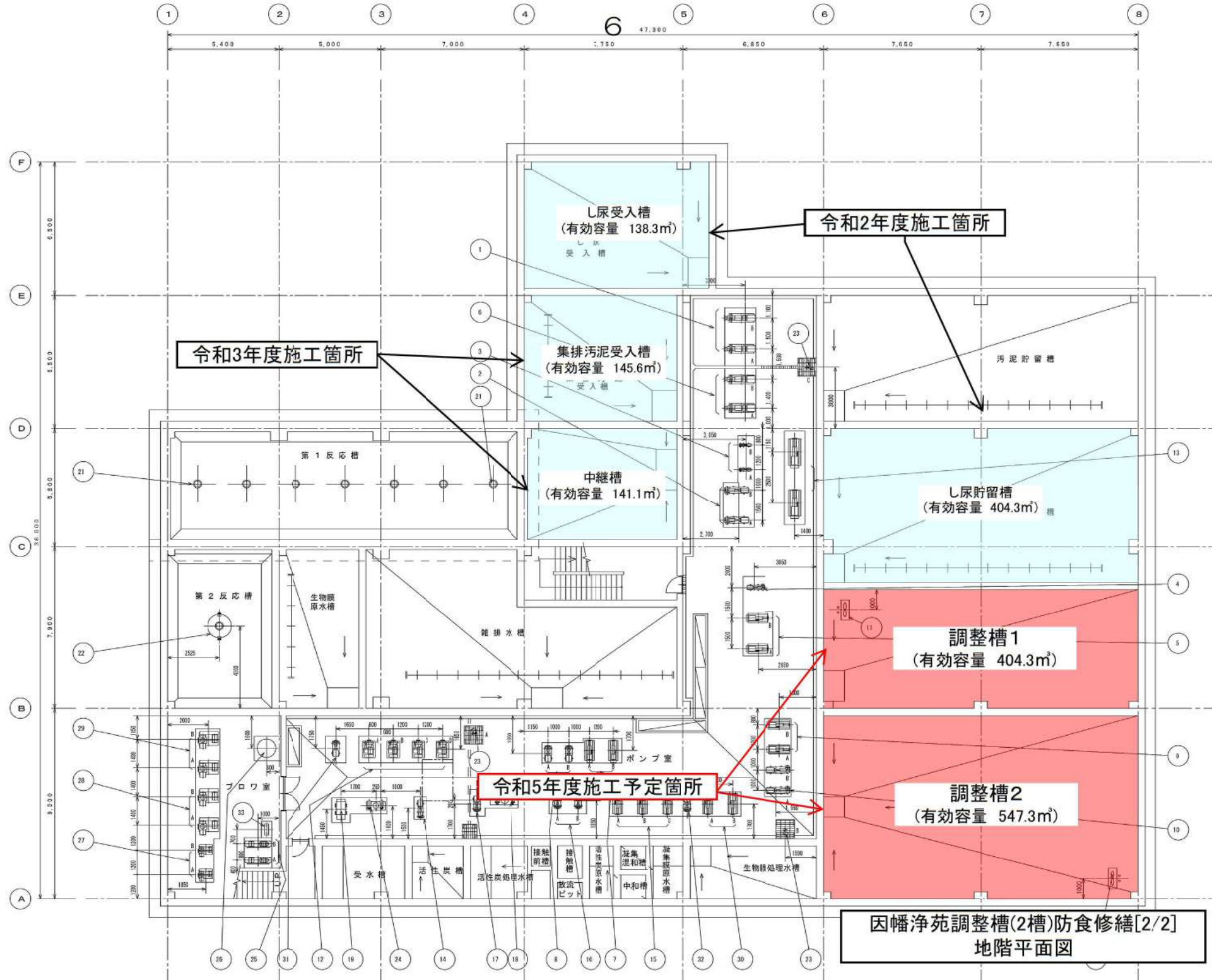
令和2年度	し尿受入槽・貯留槽	42,044千円
令和3年度	集排汚泥受入槽・中継槽	35,249千円

【当該年度計画】

調整槽(2槽)防食修繕	78,950千円
-------------	----------



因幡浄苑調整槽(2槽)防食修繕[1/2]
水位高低図



因幡浄苑調整槽(2槽)防食修繕[2/2]
地階平面図

4	項 目 名	可燃物処理施設運営管理事業
---	-------	---------------

年 度	令和5年度
-----	-------

担当課

会計名	
	一般会計
款	衛生費
項	可燃物処理費
目	ごみ処理施設管理費

(単位：千円)

令和5年度予算額	807,176
令和4年度予算額	634,043

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	472,980
市町普通負担金	334,196
計	807,176

その他財源の内訳	
余剰電力売電収入	208,980
可燃物処理手数料	264,000

事業の概要

【問合せ先】 0857-26-0596

【事業の経過及び背景】

可燃物処理施設は、令和元年8月に現地工事に着手し、令和4年6月末に完成予定であったが、試運転中に発電用ボイラの水漏れが発生したため、同年12月末まで修繕を行い、令和5年1月から再度試運転を実施し、同年4月1日から本稼働する。

【事業の目的及び効果】

JFEが行う可燃物処理施設の運営管理の監督を行い、施設の安定稼働や万全な環境保全、ごみエネルギーの有効活用を図る。

【当該年度計画】

(債) リンピアいなば運営管理業務 (R5～R24)	683,644 千円
(債) 環境影響評価事後調査業務 (供用後) (R5～8)	85,858 千円
環境影響評価事後調査業務 (工事中)	1,850 千円
(債) 性能確認試験監理業務 (R5～R6)	5,633 千円
南側法面調査業務	8,256 千円
調整池等水質検査業務	928 千円
血中ダイオキシン類調査業務	1,100 千円
その他関連業務	19,907 千円

可燃物処理施設整備事業に係る環境影響評価業務

R5実施内容

1 可燃物処理施設整備事業に伴う環境影響評価事後調査業務（工事中）

年度	項 目	作業内容	税込金額 (税率10%)	評価書頁
5	工事中事後調査報告書作成	令和4年度の工事中の事後調査結果について、事後調査報告書への取りまとめの実施及び、工事中の事後調査報告書についての鳥取県環境影響評価審査会に係る資料作成及び対応の補助を行う。	1,850,000	評価書10-6頁
小 計			1,850,000	

2 （債）可燃物処理施設整備事業に伴う環境影響評価事後調査業務（供用後）（R5～R8）

年度	項 目	作業内容	税込金額 (税率10%)	評価書頁
5	大気質(14地点)(夏季、秋季、冬季)・騒音振動(3地点)・悪臭(9地点)・水質(19地点)・土壌(14地点)	施設稼働後の左記項目の調査を行う。	85,858,000	評価書10-4頁 評価書10-5頁
	植物・動物・水棲生物調査	既に移植完了している動植物の継続調査及び、施設稼働後の鳥類の生息状況調査を行う。		評価書10-5頁
6	大気質(14地点)(春季)	施設稼働後の左記項目の調査を行う。	25,452,350	評価書10-4頁
	植物・動物・水棲生物調査	既に移植完了している動植物の継続調査を行う。		評価書10-5頁
7	植物・動物・水棲生物調査	既に移植完了している動植物の継続調査及び、施設稼働後の動物・水棲生物の生息状況調査を行う。	13,821,500	評価書10-5頁
8	供用時事後調査報告書作成	施設稼働後の事後調査報告書の作成及び、施設稼働後の事後調査報告書についての鳥取県環境影響評価審査会に係る資料作成及び対応の補助を行う。	5,380,650	評価書10-6頁
小 計			130,512,500	
合 計			132,362,500	

※植物・動物・水生生物調査においては施設稼働後3年間、調査を行う。(評価書10-5頁)

(債) 性能確認試験監理業務 (R5～R6)

1 目的

JFE は、契約に基づき本稼働から 1 年間「性能確認試験」を行い、組合が要求した性能要件等※の達成状況を確認し、未達成の場合は瑕疵担保保証期間内（引き渡し後 2 年間）に施設を修繕することとなっている。組合として、JFE が実施する「性能確認試験」の内容や運転管理が適切に行われているか監督を行うため、専門的な部分について廃棄物専門コンサルに委託し専門的な知見から監理を行う。

※性能要件等…年間処理能力 64,435 トンが達成できること、連続して 90 日以上安定稼働が達成できること、1 炉あたりの年間 280 日以上安定稼働が達成できること等

2 業務内容及び業務費

R5 実施内容

年度	業務内容	金額
令和 5 年度	性能確認試験計画書の精査、性能確認試験への立会・確認及び精査、組合への支援・助言	5,633 千円
令和 6 年度	性能確認試験への立会・確認及び精査、性能確認試験の審査資料作成、組合への支援・助言	4,796 千円
		計 10,429 千円

3 業務期間 (令和 5 年度から令和 6 年度まで)

	R4 (2022) 年度	R5 (2023) 年度	R6 (2024) 年度
建設工事 運営業務	可燃物処理施設建設工事期間 引渡性能 試験	← → 施工の瑕疵担保保証期間（引き渡し後 2 年間）	
		← → 性能確認試験計画書（案）作成	← → 性能確認試験期間（1 年間）
			← → 審査期間（3 か月）
モニタリ ング業務		① 性能確認試験計画書（案）精査	② 性能確認試験立会・確認 ③ 審査資料作成

令和5年度南側法面調査業務

目 的	令和4年度南側法面地すべり調査業務で決定した対策工方針に基づく設計と法面の動態観測を行う。				
経 過	令和2年 4月 南側法面に亀裂が入る 令和3年 6月 南側法面崩壊部仮補修業務（法面下部への土のうを設置及び法面と土のう間の盛土）施工 1 2月 南側法面崩壊部仮補修業務増工（追加盛土）施工 令和4年 3月 R3南側法面地すべり調査業務（現地測量）施工 5月 R4南側法面地すべり調査業務（ボーリング調査、地すべり解析、対策工方針決定等）施工				
令和2年4月 令和3年4月 令和3年10月 令和4年1月 令和4年12月					
令和4年度調査結果（抜粋）	ぎょうかいかくれきがん (1) 当該地すべりは、脆弱な凝灰角礫岩（火山灰と岩片などから形成された岩）を切土することによって地盤の緩みが進行し、不規則に分布している凝灰岩（火山灰などが固まった岩石、比較的柔らかい）等を使って新たな地すべりが発生したものと考えられる。 (2) 現在は、押さえ盛土により比較的動きがない状態であるが、今後も動態観測を継続しデータ蓄積を行う必要がある。 (3) 対策工は、現在効果がある押さえ盛土の補強と集排水ボーリングを行う方針とする。 (4) 当該法面の緑化が進まないため土壌試験を実施する。				
令和5年度業務内容	動態観測（伸縮計、挿入式孔内傾斜計、杭間測定による定期観測）		R5当初予算計上額		
	土壌pH試験（土壌の酸性化の試験）		8,256千円		
	設計業務（補強押さえ盛土工、集排水ボーリング工）				
令和6年度以降	令和5年度の対策工設計に基づく対策工の実施及び動態観測を行う。				

対策工イメージ

集排水ボーリング

補強押さえ盛土



5	項 目 名	消防庁舎新築・改修事業
---	-------	-------------

年 度	令和5年度
-----	-------

担当課	消防総務課
-----	-------

会計名	一般会計
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

令和5年度予算額	256,319
令和4年度予算額	330,559

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	190,400
その他	65,919
市町普通負担金	0
計	256,319

その他財源の内訳	
市町特別負担金	65,919
	0
	0

事業の概要

【問合せ先】 管理係 0857-23-2434

【事業の経過及び背景】

昭和56年以前の旧耐震基準で建築されている消防庁舎は、耐震性を表すIs値が基準以下であり、耐用年数に到達し老朽化が進行していること等の問題が生じていることから、新築事業をすすめている。令和4年度時点で事業対象9施設のうち、5施設の事業を完了している。

また、事業対象にない庁舎についても、建物・設備の老朽化が進んでいることから、計画的に修繕を実施する。

【事業の目的及び効果】

消防庁舎の老朽化及び耐震不足を解消するため、本組合消防庁舎整備基本方針に基づき消防庁舎の新築整備を行い、既設施設については維持管理をより効率的・効果的に進めるため、必要な修繕を行い、庁舎の予防保全に努めることで、継続的に管内地域の安全・安心の確保を図る。

【事業の内容・実績】

八頭消防署智頭出張所

令和2年度 新築工事（1年目）	[決 算]	139,110千円
令和3年度 新築工事（2年目）	[決 算]	258,477千円
令和4年度 解体工事・地盤変動調査	[決算見込]	18,810千円

八頭消防署用瀬出張所

令和2年度 基本・実施設計	[決 算]	38,604千円
令和3年度 新築工事（1年目）	[決 算]	41,595千円
令和4年度 新築工事（2年目）	[決 算]	231,563千円

八頭消防署若桜出張所

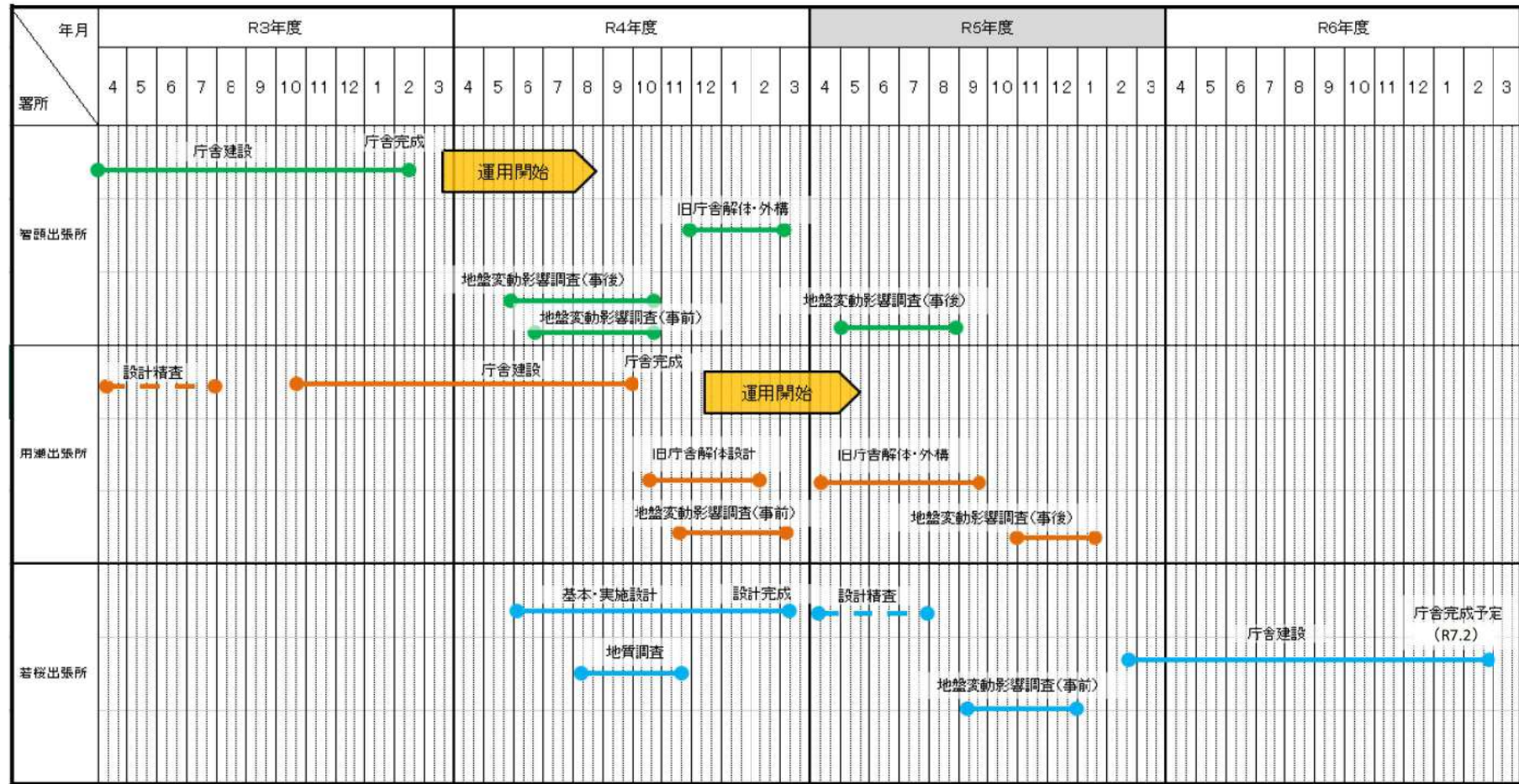
令和4年度 基本・実施設計	[決算見込]	34,259千円
---------------	--------	----------

【当該年度計画】

・八頭消防署智頭出張所	旧庁舎解体工事後の地盤変動調査	6,510千円
・八頭消防署用瀬出張所	旧庁舎解体工事・地盤変動調査	39,283千円
・八頭消防署若桜出張所	新築工事（1年目）・工事監理業務・地盤変動調査	156,445千円
・消防局・鳥取消防署	屋上防水改修工事	40,284千円
・気高消防署青谷出張所	外部改修工事（屋根及び外壁）	13,797千円

庁舎建設工程表(予定)

参考



6	項 目 名	消防ポンプ自動車・高規格救急自動車 更新事業
---	-------	------------------------

年 度	令和5年度
-----	-------

担当課

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

消防総務課

事業の概要
【問合せ先】 管理係 0857-23-2434 【事業の経過及び背景】 長期間使用により老朽化した車両資機材を年次計画に基づき更新する。 【事業の目的及び効果】 多様化する災害に対応するため、車両資機材の更新配備を行い、継続的に管内地域の安全・安心の確保を図る。 【事業の内容・実績】 令和3年度 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（1台）〔鳥取消防署〕 [決算] 62,370千円 高規格救急自動車（1台）〔鳥取消防署〕 [決算] 33,759千円 令和4年度 災害対応特殊消防ポンプ自動車（1台）〔吉方出張所〕 [決算見込] 42,790千円 高規格救急自動車（2台）〔鳥取消防署、気高消防署〕 [決算] 66,880千円 令和5年度【当該年度計画】 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（1台）〔湖山消防署〕 [当初] 74,841千円 災害対応特殊高規格救急自動車（1台）〔湖山消防署〕 [当初] 36,549千円 災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車【債務負担行為（令和5年度、令和6年度）】 （1年目）〔湖山消防署〕 [当初] 0千円 令和6年度 災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車【債務負担行為（令和5年度、令和6年度）】 （2年目）〔湖山消防署〕 [概算] 161,151千円

(単位：千円)

令和5年度予算額	111,390
令和4年度予算額	114,872

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	111,300
その他	0
市町普通負担金	90
計	111,390

その他財源の内訳	
市町特別負担金	0
	0
	0

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(A-I) (湖山消防署配備予定)

《参考》



高規格救急自動車(湖山消防署配備予定)

《参考》

参考ベース車両



災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車（湖山消防署配備予定）

《参考》

参考ベース車両



7	項 目 名	高機能消防指令センター整備事業
---	-------	-----------------

年 度	令和5年度
-----	-------

担当課
情報指令課

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

令和5年度予算額	14,421
令和4年度予算額	0

(単位：千円)

区 分		金 額
財源内訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	14,421
	市町普通負担金	0
計		14,421

その他財源の内訳	
市町特別負担金	14,421
	0
	0

事業の概要

情報指令課

【問合せ先】システム管理係 0857-54-1262

【事業の経過及び背景】

現在の消防緊急通信指令システムは、平成26年に運用開始し、この機能のほぼ全てがコンピューターにより構成され作動しており、システムの耐用年数はコンピューター関係の補修部品の供給を受けることが可能な年限に制約され、最長12年程度が保守の限界と考えられる。当消防局が運用している消防指令システムは、運用開始から9年経過しており当事業完了予定の令和7年度末には12年が経過することとなり、老朽化による更新時期を迎えようとしている。

また、NTT固定電話回線の規格変更(回線のIP化)への対応を令和9年1月までに、緊急車両と指令センターをつなぐ無線回線(Foma3G)の停波への対応を令和7年度末までに行うことが必須であり、計画的に更新するもの。

【事業の目的及び効果】

消防指令システムのサービス提供を安定的に行いながら、高機能消防指令センターの更新整備を計画的に実施する。

【事業の内容】

令和5年度	実施設計	〔当初〕	14,421千円
令和6年度	高機能消防指令センター整備（1年目）〈債務負担行為〉	〔概算〕	560,000千円
令和7年度	高機能消防指令センター整備（2年目）〈債務負担行為〉	〔概算〕	840,000千円

【当該年度計画】

高機能消防指令センター更新に向けた実施設計を実施